



613-000087 Rev.B 060228



最初にお読みください

CentreCOM® EG1004TX リリースノート

この度は、CentreCOM EG1004TX をお買いあげいただき誠にありがとうございました。本リリースノートは、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。最初によくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ソフトウェアバージョン 1.0.0-23

2 本バージョンでの制限事項・注意事項

ソフトウェアバージョン 1.0.0-23 には、以下の制限事項や注意事項があります。

2.1 機能上の制限・注意事項

- 設定内容を入力したコマンドのリストとして表示することができません。
入力したコマンドのリストが必要な場合は、通信ソフトウェアが持つログ機能を利用してください。
- SIP プロトコルで使用可能なトランスポートプロトコルは UDP のみです。
- 本製品同士の、FDB を使用した接続のみをサポートいたします。
- DTMF リレーは、RTP パケットによる方法のみが可能です。
- 出荷時設定では、DHCP クライアント機能が有効になっています。DHCP クライアントは未サポート機能となっておりますので、以下のコマンドを実行した後、IP アドレスを固定的に設定してください。

```
ip set interface ip0 dhcp disabled  
dhcpclient update
```
- FAX 通信機能は未サポートです。
- 出荷時設定では、使用する音声コーデックが G711U,G711A,T38 に設定されています。T38 は未サポート機能となっておりますので、voip ep analogue set codecs コマンドを実行し T38 を除外するように設定してください。
- 本製品は、ダイヤル番号として「#」「*」を透過することができません。
- 音声コーデックとして G.726 または G729ab をご使用になる場合、使用する E&M インターフェース（同時 VoIP セッション）は 3 回線以内にしてください。

- PBX 間接続において、呼出中状態にあるとき、発信側の本製品がリングバックトーンを生成するため、着信側 PBX が生成する音源（リングバックトーン、不在アナウンスなど）は、発信側に透過されません。
- PBX 間接続において、着信側の PBX を経由して、PSTN を使用することはできません。
- 出荷時設定では、呼出中状態の監視時間は 2 分に設定されています。この時間が満了すると、着信側の本製品より呼を解放します。この時間は、`voip ep analogue set alerting-timeout` コマンドにより、最大 10 分（600 秒）まで延長することができます。
- ダイヤル番号送信桁数削除（ダイヤルマスク）機能を拠点ごとに、異なった設定にすることができません。
- PBX と本製品の間に複数の OD 回線で接続されている場合（グループナンバーサービスを付与する場合）、回線選択順序は呼の方向に合わせて、PBX と本製品がお互い逆方向にサーチするように設定してください。本製品のサーチ順は、`voip sip user add` コマンドの入力順で設定します。
- 本製品のスタック機能を利用する場合、最大 3 台までのスタックが可能です（同一拠点に対する方路は、最大 3 方路です）。
- 本製品のスタック機能を使用する場合、迂回の時間短縮のため、以下のコマンドで SIP の再送時間を 4 秒にすることを推奨いたします。
`voip sip protocol set invitetimeout 4`
- 1 時間以上の通話を行うと、一瞬ジッター吸収バッファに設定した時間（デフォルトでは 130 ミリ秒）音声とぎれることがあります。
- 出荷時設定では、`web server` が有効となっています。脆弱性の回避のために、以下のコマンドでプロセスを無効にしてください。

`webserver disable`

3 取扱説明書・訂正

同梱の取扱説明書（613-000079 Rev.A）の訂正事項です。訂正してお詫び申し上げます。

- 「A.1 10BASE-T/100BASE-TX ポート」(p.25)
 - 誤：10/100Mbps、Full/Half Duplex 固定に設定にすると MDI になるため、ストレートタイプのケーブルを利用する場合、接続相手のポートは MDI-X でなければなりません。
 - 正：10/100Mbps、Full/Half Duplex 固定に設定にすると MDI-X になるため、ストレートタイプのケーブルを利用する場合、接続相手のポートは MDI でなければなりません。

- 「表 A.3.1 2 線方式の結線表」(p.26)

誤

ピン番号	信号名	信号方向
1	SB	
2	M	
3	未使用	
4	Tx - /Rx -	双方向
5	Tx + /Rx +	双方向
6	未使用	
7	E	
8	SB	

正

ピン番号	信号名	信号方向
1	SB	
2	M	
3	未使用	
4	Tx - /Rx -	双方向
5	Tx + /Rx +	双方向
6	未使用	
7	E	
8	SG	

- 「表 A.3.2 4 線方式の結線表」 (p.26)

誤

ピン番号	信号名	信号方向
1	SB	
2	M	
3	RX -	受信
4	TX -	送信
5	TX +	送信
6	RX +	受信
7	E	
8	SB	

正

ピン番号	信号名	信号方向
1	SB	
2	M	
3	RX -	受信
4	TX -	送信
5	TX +	送信
6	RX +	受信
7	E	
8	SG	

- 「A.4 製品仕様」 (p.27)

誤：インターフェース WAN 10BASE-T/100BASE-TX × 1 (オートネゴシエーション時 MDI/MDI-X 自動切替、Full Duplex/Half Duplex/10Mbps/100Mbps 手動設定時は MDI 固定)

正：インターフェース WAN 10BASE-T/100BASE-TX × 1 (オートネゴシエーション時 MDI/MDI-X 自動切替、Full Duplex/Half Duplex/10Mbps/100Mbps 手動設定時は MDI-X 固定)

4 未サポートコマンド

コマンドの入力補助機能（「?」や「タブ」キー）によって表示される以下のコマンドは、サポート対象外ですので、あらかじめご了承ください。

```
agent
ald
autoprov
bridge
classifier
console
dhcpclient(dhcpclient update のみをサポート)
dhcpserver
diagnosticTest
dnscient
dnsrelay
emergency
ethernet
igmp
imdebug
ip add route
ip attach
ip attachbridge
ip attachvirtual
ip clear
ip detach
ip list riproutes
ip set interface icmprouteradvertise
ip set interface rip
ip set interface sourceaddrvalidation
ip set rip
ip set route advertise
ip show debuginfo
meter
pppoa
pppoe
scheduler
sntpclient
source
switch disable
switch enable
switch reset
switch set ageingtimer
switch set looppdetection
switch set port defaultpriority
switch set port defaultvid
```


voip mgcp
voip sip locationserver
voip sip proxyserver
voip sip protocol set authentication
voip sip protocol set internal-call-routing
voip sip protocol set keep-alive
voip sip protocol set nat
voip sip protocol set remote-party-id-replacement-on-cfwd
voip sip protocol set server-switching
voip sip protocol set sessionexpire
webservice (webservice disable のみをサポート)
ztcclient